

<様式3-1> (継続事業分)

## 事業別評価調書 (チェックリスト)

整理番号	2	事業名	都市計画道路 太平寺岡部線			(補助) 単独	地区名 (事業箇所名)	御山町工区 (福島市御山町 外地内)		担当部課名	都市政策部 交通政策課										
評価を受ける理由	要綱 第3条第1項 (3)																				
根拠となる項目 (○をつける)	要綱 第3条第1項 (1) 事業採択から5年経過した時点で未着工の事業																				
	第3条第1項 (2) 事業採択から10年を経過した時点で継続中の事業																				
	○	第3条第1項 (3) 評価実施から5年経過した時点で継続中の事業																			
	第3条第1項 (4) 計画変更を行おうとする事業 (軽微なものは除く)																				
	第3条第1項 (5) その他社会経済情勢の変化に伴い評価実施の必要が生じた事業																				
	第3条第2項 事業に係る予算を新たに措置し、又は事業に着手しようとする事業																				
第3条第3項 本要綱と異なる対象事業案件が通知された国庫補助事業等																					
事業の概要	(事業目的及び全体計画)																				
	(1) 事業目的 本事業は、国道13号から市道杉妻町御山線(県庁通り)までを整備するもので、当路線の整備により国道4号から国道13号間が結ばれ、中心市街地に流入する通過交通を分散し渋滞の緩和を図るとともに、歩車道分離により快適で安全な歩行者・自転車空間の確保を目的としている。																				
事業の概要	(2) 全体計画 延長 L=450m 幅員 W=25m (車道幅員 W=15m 歩道幅員 W=5m 両側) 全体事業費 C=1,034 百万円																				
	事業採択年度	平成25年度	完成目標年度	平成32年度	用地着手年度	平成25年度	工事着手年度	平成31年度													
事業概要	全体事業費 (うち用地費)	1,034 百万円 (385 百万円)	これまでの投資事業費合計	89 百万円 (49 百万円)	左の財源別内訳又は負担割合		これまでの年度別投資実績 (27年度は見込み値である。)														
					国	市	その他(起債)	25年度	26年度	27年度	項目別事業費										
					569 百万円	46 百万円	419 百万円	38 百万円 (36 百万円)	38 百万円 (0)	13 百万円 (13 百万円)	測量試験費 34 百万円	工事費 338 百万円	用地費 385 百万円								
進捗率	事業費ベース	8.6%	用地費ベース	12.7%	その他 ( )																
事業の進捗状況	(整備の状況) H26 までは、順調に進捗している。 H27 以降は、国費の内示率が厳しく事業進捗に影響がでる可能性あり。																				
	(事業実施上の課題や問題点、今後の事業見通し) 国費の内示が厳しい状況であるため、土地開発基金等を活用し用地を先行取得する必要がある。 道路予定区域内において、仮設住宅等があるため、関係機関と調整する必要がある。 国及び公安委員会と国道13号交差協議に時間を要している。 近隣に移転を希望している権利者が多く代替地の確保に時間を要している。																				
事業の進捗状況	(関連事業の進捗状況) 隣接する霞町工区は H24.4 に供用開始。																				
	評価	AA · A · B · C										評価	AA · A · B · C								

事業を巡る社会経済情勢等の変化

[事業に関する社会経済情勢] (特記すべき事項)

(1) 変化の有無  有 · 無

(2) 変化の内容  
県全体の街路事業の国費の内示率が約50%と厳しい状況である。

(3) 地域の協力体制等  
権利者全員に個別訪問し意向調査を実施した結果、早期整備を多くの方々が望んでいる。

[事業に関連する評価指標等]

(1) 主要な評価指標の変化  
街路事業における客観的評価指標  
前提条件  
・ 事業の効率性 : 便益が費用を上回っている。  
・ 事業実施環境 : 都市計画決定済み  
・ 事業の性格 : 短期間に集中的に施工する必要がある事業  
幹線道路ネットワーク形成上必要な都市内環状道路

(2) その他特記すべき事項

## 事業別評価調書(チェックリスト)

地元住民・受益対象者及び関係機関の意向	<p><b>【地元住民・受益対象者の意向】</b></p> <p>(1) 事業採択時の意向 国道4号と国道13号を結ぶ都市内環状道路として早期整備が望まれている。</p> <p>(2) 評価実施時の意向 代替地等の提示を行い、早期事業完成に協力を頂いている。</p> <p><b>【関係機関・団体の意向】</b></p> <p>(1) 事業採択時の意向 国土交通省福島河川国道事務所(道路管理者)及び福島県公安委員会と国道13号接続について協議を重ねている。</p> <p>(2) 評価実施時の意向 H27年度内に了承いただく予定。</p>	コスト削減や代替案等の可能性	<p><b>【計画変更の必要性】</b></p> <p>(1) 必要性の有無            有 ・ <b>無</b></p> <p>(2) 計画変更の理由及び内容</p> <p><b>【代替案立案の可能性】</b></p> <p><b>【コスト削減の取り組み等】</b> (特記すべき事項)</p> <p>コンクリート二次製品や再生材の積極的な活用を検討する。 発生土砂の現場内利用、他工事流用等を検討する。</p>				
	評価 <b>AA</b> ・ A ・ B ・ C		評価 <b>AA</b> ・ A ・ B ・ C				
費用対効果分析等の要因の変化	<p><b>【費用対効果分析】</b></p> <p>(1) 手法 費用便益の算定 交通量推計と将来交通量配分データを用い、整備の有無による交通量を推計し、費用便益を算定する。</p> <p>(2) 費用対効果の変化 新規事業評価時の費用便益比 B/C=2.3(H22年度) 継続事業評価時の費用便益比 B/C=2.0(H27年度) 事業採択時より資材及び人件費の高騰により、費用便益は小さくなっている。 新規事業評価時の総事業費 : 9億1百万円 継続事業評価時の総事業費 : 10億34百万円</p> <p><b>【費用の変化等で特記すべき事項】</b> 復興事業等の増加により、資材及び人件費が高騰している。</p> <p><b>【需要効果の変化等で特記すべき事項】</b></p>	総合評価と対応方針	<p><b>【総合評価と対応方針】</b></p> <p>(1) 総合評価 ※上記の各視点毎の評価結果を踏まえ、総合的に記述する。 国道4号と国道13号を結ぶ都市内環状道路であり、中心市街地に流入する通過交通を分散し渋滞の緩和を図るとともに、歩車道分離により快適で安全な歩行者・自転車空間を確保するなど、早期整備を図っていく必要がある路線である。</p> <p>(2) 対応方針案及び今後の事業の進め方</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 5px;">対応方針案</td> <td style="padding: 5px;">継続</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">今後の事業の進め方</td> <td style="padding: 5px;">国道13号との接続協議を進めるとともに、関係する権利者に対し丁寧な説明を行い、移転先の代替地を確保し合意形成を図りながら事業の進捗に努めていく。</td> </tr> </table> <p>(3) 事業見直し継続、休止、中止する場合の対応</p>	対応方針案	継続	今後の事業の進め方	国道13号との接続協議を進めるとともに、関係する権利者に対し丁寧な説明を行い、移転先の代替地を確保し合意形成を図りながら事業の進捗に努めていく。
対応方針案	継続						
今後の事業の進め方	国道13号との接続協議を進めるとともに、関係する権利者に対し丁寧な説明を行い、移転先の代替地を確保し合意形成を図りながら事業の進捗に努めていく。						
	評価 <b>AA</b> ・ A ・ B ・ C						